

皆さまとおきぎんをつなぐ情報誌

沖縄銀行 ディスクロージャー誌

おきぎん 2017 情報編 レポート



沖縄を元気に!

沖縄銀行は、沖縄の地方創生を応援しています。

注目商品・サービス

- ★ フィンテック
FinTech
- ★ 外為Webサービス

トピックス

- ★ おきぎん証券が
グループ入り!

PEOPLE'S BANK

Ⓞ 沖縄銀行

PEOPLE'S BANK

県民に一番愛される銀行

お客さまと共に 持続的成長ができる ビジネスモデルの構築を 目指します。



私たち沖縄銀行は、1956年の創立以来、「地域密着・地域貢献」という経営理念のもと、地域に根ざした金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。おかげさまで、昨年7月には、創立60周年を迎え、さまざまな記念事業を通して、地域や取引先の皆さまから、たくさんの祝福と激励のお言葉を賜りました。これまで永きにわたりご愛顧・ご支援いただきましたお客さまや地域の皆さま、そして株主の皆さまに深く感謝を申し上げます。

このたび、当行についてのご理解をより一層深めていただくために、ここに「おきぎんレポート2017」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

国内経済は、海外経済の緩やかな成長に伴い輸出が持ち直したほか、企業収益が高水準で推移する中で設備投資が増加基調となったことや、個人消費についても雇用・所得環境の着実な改善を背景に底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続きました。

県内では、個人消費や建設関連が概ね堅調なことや、観光関連でも好調な動きが継続したことなどから、拡大の動きとなりました。このような環境のもと、地域の活性化に向けた成長分野への積極的な資金供給や、中小企業・小規模事業者の生産性向上の支援など、地域金融機関に求められる役割はますます重要になってきております。

こうした中、2015年度より「お客さま満足」と「従業員満足」を最優先事項とする「中期経営計画 CHANGE FOR VALUE～新たな価値創造の3年～」がスタートしました。本計画2年目となる昨年度は、新たな業務プロセスの定着化により「お客さまの期待を満了す」ことを到達目標として、お客さま満足度向上に向けた業務革新に継続して取り組んでまいりました。そして、最終年度となる今年度は、「お客さま目線の新たな価値創造」による「お客さまの期待を超えるサービスの実現」に向けてチャレンジする大切な1年となります。この取り組みの一つとして、当行は、県内唯一の地場証券会社である「おきなわ証券

(現：おきぎん証券)」を完全子会社化しました。今後は、当行グループとして連携を強化し、中長期的な視点により、お客さま本位の良質で安定的な資産形成に貢献してまいります。

当行がお客さまに良質なサービスを提供することで、お客さまの生産性向上や資産形成が図られ、当行の成長に繋がるという好循環により、お客さまと当行が喜びを共感できる仕組み。すなわち「お客さまとの共通価値」を創造し、その価値をシェアすることで双方が持続的に成長できるビジネスモデルの構築を目指してまいります。

お客さまの喜びは役職員の働きがいであり、当行は、常にお客さまの期待にお応えし、地域社会に愛され、親しまれる銀行「ピープルズバンク」として、役職員一丸となってさらなる経営内容の充実、サービス向上に努めてまいります。

取締役頭取
玉城 義昭

CONTENTS

【地方創生】

2 沖縄を元気に！

【商品・サービス】

16 FinTech

20 外為Webサービス

22 おもてなしUP!

【トピックス】

23 おきぎんトピックス

24 おきぎん証券がグループ入り!

【経営戦略】

26 中期経営計画

【平成29年3月期】

28 業績ハイライト(単体)

皆さまと沖縄銀行をつなぐ情報誌「おきぎんレポート」(ディスクロージャー誌)では、当行の取り組みとともに、沖縄の「今」をお伝えします。ぜひ、ご覧ください。

平成29年3月期の詳細な財務データなどは、「ディスクロージャー誌2017(資料編)」をご覧ください。

沖縄を元気に!

沖縄銀行は、沖縄の地方創生を応援しています。

全国的に人口減少・少子高齢化が進む中、沖縄では人口増加が続き、国内外からの観光客も増え、経済成長が続いています。しかし、持続的成長を続けていくためには、沖縄が抱えるさまざまな課題の解決に取り組み、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、その好循環を支える「まち」の活力を上げていくことが重要です。今、沖縄をもっと元気にするために沖縄銀行が地域とともに取り組んでいる、地方創生をご紹介します。



沖縄銀行の地方創生の取り組み

- 三菱東京UFJ銀行と地方創生に関する包括連携協定を締結

● 持続可能な街づくり ▶P4-5

- ・浦添市内のスマートシティ開発を加速
- ・2人乗り電気自動車「ゆいも」を導入

● インバウンド活性化—沖縄誘致 ▶P6-7

- ・北海道銀行とのATMに関する提携
- ・新型外貨両替機を設置
- ・琉球朝日放送とベトナム国営放送の共同制作ドラマ「遠く離れた 同じ空の下で」に協賛

● 寄付講義「デジタルマーケティング入門」を開講 ▶P8-9

● 海外留学フェスタ「RYU×RYUフェスタ2017」に協賛 ▶P10-11

- 創業・事業承継を支援する「おきぎん経営者塾」を開催
- 若手イノベーター人材を発掘・育成する「Ryukyufrogs Leap Day」に協賛

● 産学官金共同研究スタートアップ支援 ▶P12-13

● 購入型クラウドファンディングサービス ▶P14-15

- 沖縄ものづくり振興ファンド
- 国際ビジネスサポート
- ネット販路開拓・販売力強化支援プラットフォーム「ネッパンクラブ」への参画
- 「女性起業支援セミナー」を開催
- 「沖縄県後継者人材バンク」が連携創業支援機関に認定



Urasoe Smart City

沖縄都市モノレール
 ただこ浦西駅※ 開発地区
 ※2019年春 開業予定

イメージ図は、実際の浦添スマートシティとは異なります



持続可能な街づくり

■ 浦添市内のスマートシティ開発を加速！

沖縄都市モノレールの延伸で、新たな終点として新設される「ただこ浦西駅」周辺(浦添市前田・西原)では、大規模なスマートシティ開発が進められています。2019年春予定の街びらき以降、駅周辺には大型複合商業施設やマンションなどが順次オープンし、アリーナ計画も検討されています。また、交通渋滞解消のため、沖縄自動車道のインターチェンジと大規模な駐車場が設けられ、車からモノレールに乗り換える「パーク・アンド・ライド」の拠点となる予定です。このスマートシティのエネルギーの供給とマネジメントを担うのが、官民連携して設立し、沖縄銀

行も出資する浦添分散型エネルギー株式会社です。同社は、電力・熱などの供給拠点となる本社エネルギーセンターを本開発地区内に建設し、コージェネレーション(熱電併給)、太陽光発電や風力発電のほか、温泉を掘って活用するなど、分散型エネルギーシステムを構築し、電力・温熱・冷熱・温泉を一括して効率よく供給・管理します。これにより、需要家のエネルギーコストの低減や、CO₂排出削減など環境負荷の抑制を図り、持続可能な街づくりに貢献します。街びらきまで、あと数年。沖縄の未来へとつながるスマートシティ開発は、日々加速しています。



浦添分散型エネルギー(株)／本社エネルギーセンター完成図



TOPICS



2人乗り電気自動車「ゆいも」を導入

当行は2人乗り電気自動車「ゆいも」を、営業車両として5台導入しました。「ゆいも」は、エネルギー消費量が通常の自動車の6分の1程度で、軽自動車よりも小さく、高齢者を含むあらゆる世代が手軽に利用できるため、省エネ・少子高齢化時代に対応したコンパクトな街づくりに適しています。この導入により、沖縄の長年の課題である交通渋滞・駐車場不足の緩和や、二酸化炭素排出量削減による環境負荷低減への取り組みの一端を担い、持続可能な街づくりに貢献していきます。



インバウンド 活性化 沖縄誘致

海外からの観光客が増加の一途を辿る日本を代表する観光地「沖縄」。さらなる観光客増加への貢献を目指す沖縄銀行の取り組みを紹介します。

① 沖縄銀行 × 北海道銀行

■ 北海道銀行との提携

当行は北海道銀行とATM利用手数料の相互優遇提携を結ぶとともに、海外発行カード対応ATMを共同設置しました。両行が提携することで、両地区、また海外からのお客さまの利便性向上を図っています。

① ATM手数料の相互優遇

当行・北海道銀行のお客さまは、両行のATMを同様の手数料でご利用いただけます。

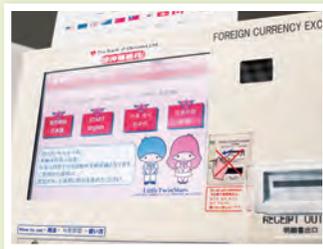
② 海外発行カード対応ATMを共同で設置

両行共同で設置するこのATMでは、海外で発行されたクレジットカードやキャッシュカードで、「日本円」を即時に引き出すことが可能です。また、近年の台湾からの観光客の急増にも対応し、沖縄初の取り組みとして、台湾で発行されたキャッシュカードでも即時に日本円を引き出せる機能も搭載しています。



■ 新型外貨両替機を設置

「円貨から外貨」「外貨から円貨」の双方の両替ができる新型外貨両替機を、本店営業部ATMコーナーに設置しました。これにより、平日午後3時以降や土日祝祭日のお取引も可能となりました。



海外からの
お客さまにも！
ATMがもっと
便利に！



沖縄銀行 営業統括部
支店統括グループ
営業体制チーム
知念 健

沖縄 × ベトナム

琉球朝日放送

ベトナム国営放送



「遠く離れた 同じ空の下で」

経済成長著しいベトナムと沖縄を舞台にした恋愛ドラマ「遠く離れた 同じ空の下で」に、当行は協賛しました。ドラマは、観光地や那覇大綱挽などでも撮影され、沖縄の魅力である自然や文化も感じることができ、また悲しい戦争の過去にも触れる内容で、両国での評判は高く、SNSでも話題になりました。これにより、ベトナムの視聴者を沖縄旅行へ誘導するとともに、ドラマで紹介された県産品のPRによって販路拡大や販売促進につなげ、地域活性化への取り組みに貢献しています。



SNSで話題に!

ベトナム人キャストの演技が素晴らしい。

沖縄とベトナムの良いところ・悪いところをいろいろ織り交ぜて、良く表現されていると思います。

涙が出るほど感動しました。

見所満載、良かったよお～!

もっとベトナムと沖縄が仲良くなったらいいなー。

めっちゃ良かったです！
沖縄のおばーやベトナムのお父さんのメッセージに、心を打たれました！

● あらすじ ● TVリポーター・英里(宮城夏鈴)と、ベトナム人留学生・ハイ(クアン・スウ)。2016年10月9日、那覇大綱挽会場で、幸運をもたらす綱を巡って最悪の出会いをしてしまう二人。ベトナムに興味を持った英里は、取材を通してハイと再会するが、あっさりハッピーエンドは訪れない。ハイの恋人ミフンの登場や英里の元カレの猛烈アピール。厳しい戦争を体験したベトナムと沖縄の人々の心の交流を通じて、二人の愛は2,500kmの距離を超えていく。

主な登場人物の相関図





ひと



寄付講義

デジタルマーケティング入門 開講



4社共同で「新産業・雇用の創出」と「若年層の地元定着」に貢献

琉球大学では、COC+*事業の補助事業である「新たな地域社会を創造する『未来叶い(ミライカナイ)プロジェクト』」の一環として、事業協同機関と連携し、地域が抱える課題(ニーズ)と大学の資源(シーズ)のマッチングによる新産業・雇用の創出、若年層の地元定着の推進などに取り組んでいます。同プロジェクトは、沖縄県における取り組みとも連動しており、特にIT分野はオンラインの活用により地理的な制約を受けないため、地方創生においても注目され、これらの技術やノウハウを活用できる人材が求められています。このような地域が求める人材の

育成のため、沖縄銀行は-google合同会社、株式会社サイバーエージェント、その運用子会社である株式会社シーイー・アドバンスの4社で、琉球大学において寄付講義「地域創生のためのデジタルマーケティング入門」を開講しました。講義では、マーケティングの基礎的な考え方、マーケティングにインターネットがどのように活用され影響を与えているのか、消費者・企業にどのようなメリットがあるのかを、地元企業の事例研究などを通して学びます。当行は、これからも沖縄の未来を担う若者の育成に、継続して取り組んでいきます。

*文部科学省による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」

沖縄の未来を育む！

寄付講義の講師と受講生に、講義への思いを伺いました。

講師の声

産学官・地域連携を通じて、
地域志向型リーダーの育成を目指します。

本学は建学以来「地域のための大学」として、さらに昨年度には新たに「地域連携推進機構」を設置し、産学官連携や地域連携に力を入れています。特にCOC+事業では、大学の教育研究を通じて、地域の問題を見つけて解決できる「地域志向型リーダー」の育成を目指した教育プログラムの開発を進めています。多くの分野で応用が期待できるマーケティングについては、学部・学科や学年を問わない共通教育科目として、本講義を開講しています。沖縄銀行をはじめとした企業の方々からデジタルマーケティングの基礎などを講義で学ぶだけではなく、グループワークでデジタルを活用した企画・提案のプレゼンを行うなど、より実践的な学修となっています。

受講生の声

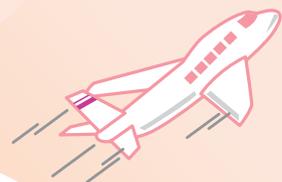
今後もさらに知識を深めて、
沖縄の発展に貢献したいと思います。

「デジタルマーケティング入門」では、私たちが普段SNSなどを通して触れている、データやデジタルを駆使した企業のプロモーション活動について学ぶことができました。また、理論だけではなく、GoogleをはじめとしたIT企業の方々から、それぞれの企業のデジタルマーケティングに対する戦略や実践例を直接伺えたことも、とても勉強になりました。その上、デジタルマーケティングを活用した地域貢献の可能性についての考え方も学ぶことができましたので、これからの沖縄の発展を担う世代として、今後もさらに知識を深めていきたいと思っています。このような学びの機会を与えてくださり、大変感謝しています。

琉球大学
地域連携推進機構
特命准教授
小島 肇 氏

琉球大学
観光産業科学部
宜保 百絵 さん





イベントに参加して、 海外留学に対する考え方が変わりました。

大学生活がスタートしたころから、海外留学に興味を持っていましたが、周りには多くの情報があふれており、どの情報が1番正しいかなど不安が先立ち、私自身の中でいろいろと迷っていました。そんな中、「RYU×RYUフェスタ」を知ってこのイベントに参加し、留学経験者と話をすることができました。そのおかげで、留学の目的や期間などが多様であることを知り、常識にとらわれ過ぎない発想ができるようになりました。今後、最適な時期に留学ができれば良いと考え、将来に向けて計画的に行動していきたいと思います。



参加者
琉球大学 観光産業科学部
東郷 健太郎 さん



初めての海外、実現します！

おきぎんは、
海外留学を応援します！

沖縄銀行は、2017年3月に開催された海外留学フェスタ「RYU×RYUフェスタ」へ協賛するとともに、ブースの出展とステージ登壇を通じてイベントに参加しました。このイベントは、学生が海外留学に行きやすい環境をつくることや、海外留学経験の活用事例を周知することを目的としています。海外留学経験者、奨学金、企業、語学学校、大学などの多様なブースが出展され、気になる国の料理が楽しめる多国籍屋台村もあり、参加者が海外を感じられる有益な場となりました。当行はこれからも、国際的に活躍し沖縄の未来を担う人材の増加に貢献していきます。



沖縄銀行 法人部
事業戦略支援グループ
国際ビジネス支援チーム
金城 幸也

夢とやる気のある学生を サポートします。

私たち自身の経験を踏まえて、海外留学についての情報をできるだけ集約し、まずは学生たちに知ってもらうことが大切であると考え、「RYU×RYUフェスタ2017」を企画しました。賛同してくれた方々の協力もあり、当日は総勢1,000名を超える高校生や大学生とその家族が来場し、海外留学経験者の発表や奨学金制度に関する説明を熱心に聞かれるなど、留学への理解を深める良い機会が提供できたと思います。イベント後のアンケートで、多くの来場者からご意見・ご感想をいただいております。今後もそれらを参考にし、海外留学を希望している学生をサポートしていきます。



主催者
(株)Umore
左:照屋 葉月 氏
右:平良 美奈子 氏





しごと

産学官金共同研究 スタートアップ支援



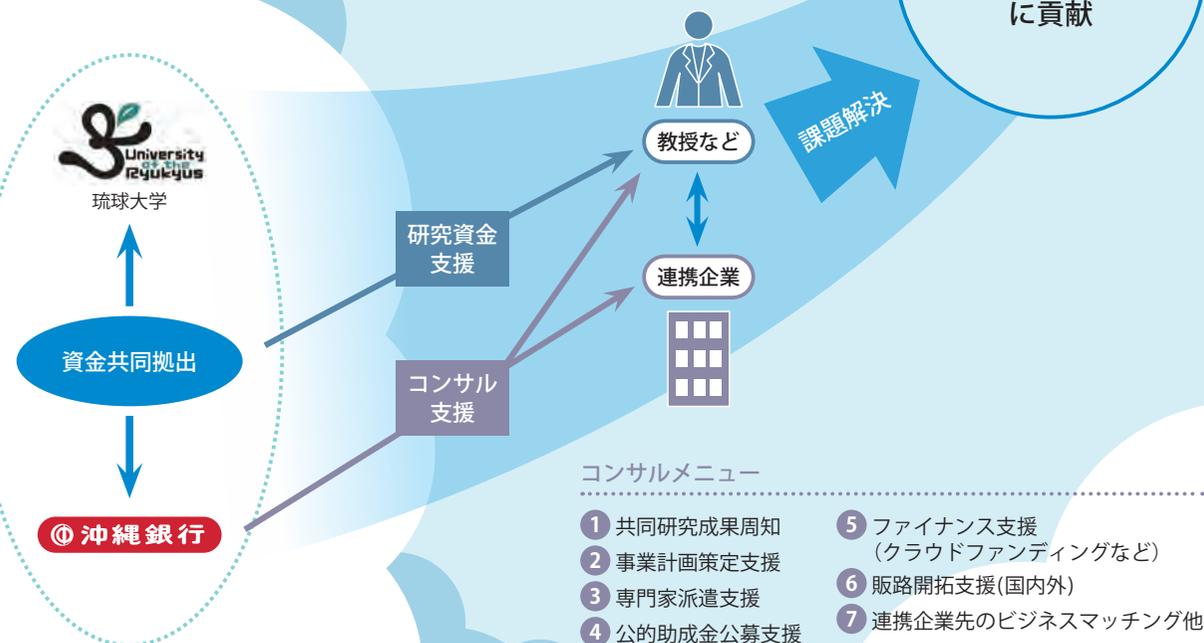
沖縄銀行 法人部 部長代理 又吉 司
事業戦略支援グループ 仲原 佳史

新事業・新産業の創出に貢献します！

私たちが暮らすこの沖縄には、沖縄の未来のため、地域経済発展のため、地域課題解決を目指した創造的な事業・研究に取り組む企業や研究者が数多くいます。沖縄銀行は、地元根ざす地域金融機関として、琉球大学の研究シーズと地域ニーズ、そして企業ニーズをつなぎ、産学官金連携の共同研究開発をサポートし、官民一体となった新事業・新産業の創出に貢献しています。

支援事業連携イメージ

地域振興・
地域産業活性化
に貢献



CASE 1

小型垂直軸型風力発電機の 効率化に関する研究を推進

研究者 琉球大学 工学部・千住 智信 教授

連携企業 (株)平仲



(株)平仲 代表取締役
元WBA世界スーパーライト級
チャンピオン
平仲 信明 氏



東日本大震災直後の福島県における原発事故を契機に、再生可能エネルギーの必要性が高まる中、長年風力発電の研究を行っている琉球大学工学部と株式会社平仲は、強風時を考慮した小型垂直軸型風力発電機の最適運転を課題に研究開発を進めています。この開発中の発電機は、プロペラ式の風力発電と比べて騒音の低減が見込まれ、また、太陽光発電も同時に設置することで、風況が良ければ24時間発電可能な独立型の風力・太陽光ハイブリットシステムとして機能することが期待されています。災害発生時の照明や電気機器の電源としてのニーズもあり、事業化を進め、将来は世界の途上国などの電力供給不足が課題となる地域へも普及を目指します。

CASE 2

泡盛蒸留粕乳酸発酵飼料による ブランド豚の創出

研究者 琉球大学 農学部・平良 東紀 教授

連携企業 (有)金城ミート
(株)リバネス 沖縄営業所



(有)金城ミート
高安 高治 氏

通常は捨てられることの多い泡盛の蒸留粕。これを乳酸菌発酵させた飼料を使った実証実験が、金城ミートの養豚場で行われ、養豚の飼料代の半減と肉質の改善(口溶けの良さと柔らかさの向上)に成功しました。昨今畜産では、抗生物質の投与が常態化し、耐性菌が生まれることによる治療効果の低下が問題となっています。今回の実証実験は、配合飼料を使わない県内初の試みで、豚の腸内環境の改善も見られ、この問題の解決に貢献すると期待されています。このように、地域資源の活用を通して、豚の健康を増進し、「環境にやさしい」付加価値ある安全・安心なブランド豚の創出に取り組んでいます。





しごと

購入型

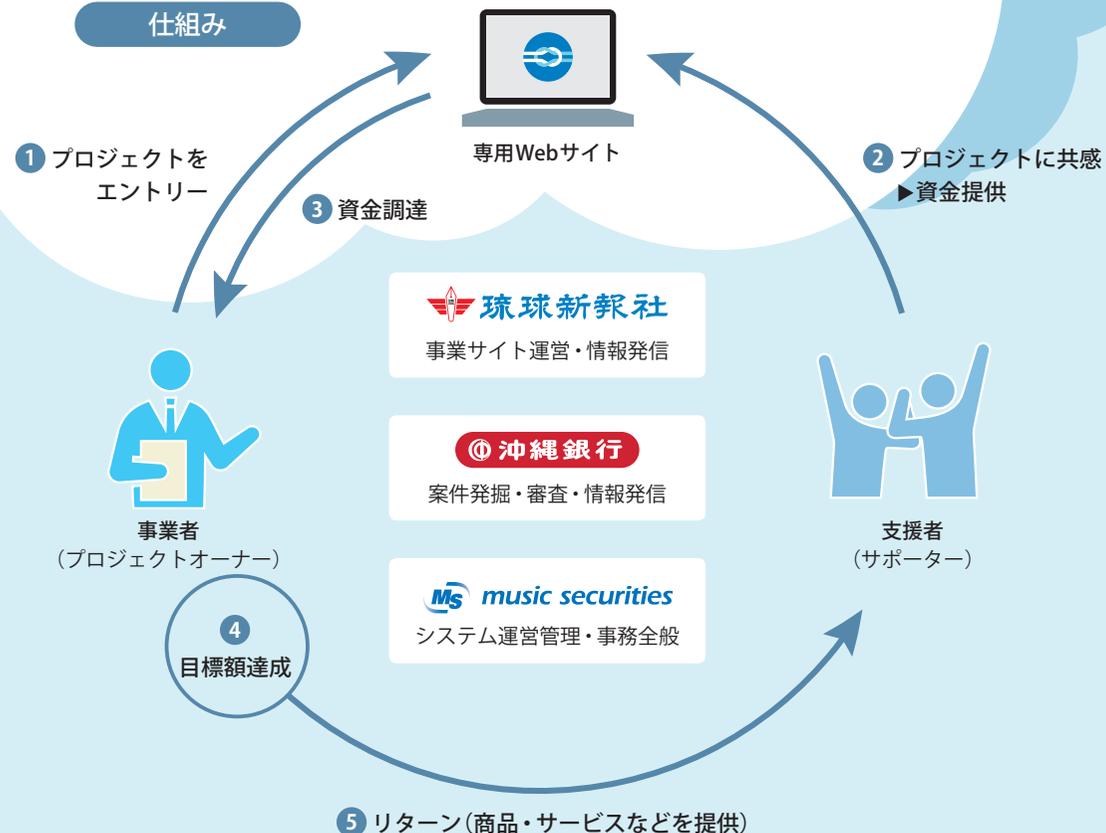
クラウドファンディング



沖縄銀行 法人部
事業戦略支援グループ
仲本 大介

頑張る挑戦者を応援します!

「こんなモノやサービスを作りたい」「社会の課題や問題をこんなふう解決したい」。その想いを専用Webサイトを通じて世の中に呼びかけ、共感した人から広く資金を集める方法が、クラウドファンディングです。このクラウドファンディングが年々メジャーになりつつある中、沖縄銀行が地域活性化を目的として他社と共同で開設した「購入型クラウドファンディングサービス」とその事例などをご紹介します。



CASE

小さな力が集まれば、世界を変えられる

YUIMA 誕生

ゆい ま

YUIMAは、夢の実現に向かって頑張る挑戦者を応援する仕組みです。沖縄銀行が挑戦者のプロジェクトづくりをサポートし、琉球新報社はメディアとしての発信力を活かして、新聞やインターネットを通じて県内外へと発信していきます。地元根ざした2社が、挑戦者の実現したい夢やその想いを支援者に伝え、事業が成功するようお手伝いします。

目標金額300万円の資金調達に成功した映画「ココロ、オドル」のプロジェクトでは、撮影中の裏話や映画PRイベント、主演俳優のインタビュー記事などを通じて、公開前の映画のファンづくりを支えました。今後も、沖縄をより良くするために、挑戦者を沖縄銀行と一緒に応援していきます。



(株)琉球新報社
久田 尚志 氏

「ココロ、オドル」プロジェクト — 沖縄の映画監督を、全国へ、世界へ —



沖縄映画界の第一人者である岸本司監督。現在制作中の最新作「ココロ、オドル」(2018年沖縄県内公開)のPR費用をYUIMAで募り、目標金額を達成しました。この映画は、座間味島の民宿「満月荘」を舞台にしたハートフルコメディで、オバアと孫息子の2人で営む民宿で起こる小さな3つの奇跡を描いたオムニバスムービーです。原作の短編映画は、米アカデミー賞公認の短編映画祭において、ジャパン部門優秀賞を受賞しています。引き続き、より多くの県民の皆さまに映画のサポーターになっていただけるようプロモーションを実施し、県内から全国へと展開して、その後世界へとつながっていくことを期待しています。

応援
しています!



PROFILE ▶ 岸本 司 監督

1968年生まれ。2007年「アコークロー」にて、監督・脚本デビュー。映画以外にも沖縄の特撮TVドラマ「琉神マブヤー」「ハルサーエイカー」なども手掛ける。2015年短編映画「こころ、おどる -Kerama Blue-」にて、SSIF&ASIA 2015ジャパン部門優秀賞、東京都知事賞、LA EigaFest2015 Shorts Competition ゴールデンジャパング賞 受賞。2016年公開の「沖縄を変えた男」が異例の大ヒットとなり、全国劇場にて公開。



フィンテック

FinTech

近年、TVや新聞、インターネットなどでよく目にする言葉「FinTech」。FinTechとは、金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語で、情報通信技術(ICT)を活用した金融関連サービスです。ICTの急速な発展とスマートデバイスの普及などは、モバイル決済、家計簿アプリ、業務支援ツール、人工知能(AI)による投資支援など、新たなサービスを次々と生み出し、私たちの毎日をより便利なものへと変えています。そこで、「お客さま満足」と「従業員満足」の向上を目指す沖縄銀行のFinTechの取り組みをご紹介します。

タブレットで効率化!!



サービス

業務

できます、個人ローンお申し込み!

導入から1年。業務効率が向上!

当行での個人ローンなどのお申し込みは、タブレット端末への入力で完結し、土曜日・日曜日でも入力情報は即時に審査システムへ転送され、審査結果を確認できます。また、一部ローン商品では、タッチペンでの電子署名による契約にも対応しています。このように当行は、お客さまのお申し込みに関わる手間と時間を大幅に軽減しています。個人ローンや住宅ローンをお考えの方は、ぜひおきぎんで!

ITを活用した業務効率向上のため、タブレット端末を導入してから一年が経過しました。高度なセキュリティの顔認証ソフト搭載のタブレット端末は、外出先でも安心して利用でき、また、セキュアブラウザと仮想デスクトップの導入により、タブレットにデータを残さず行内システムが利用可能なため、業務効率が向上しています。今後もタブレット端末による業務を拡大し、業務効率の向上に取り組んでいきます。



アプリが便利!!



©1976, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G581180



ひらく

おきぎんアプリ

スマートフォンで
カンタン口座開設

来店不要
口座開設

来店不要
ローン
お申し込み

カンタン確認
店舗検索

「おきぎんアプリ」は、お手持ちのスマートフォンから、いつでもどこでもご利用いただける無料アプリです。普通預金の口座開設は、スマートフォンで運転免許証を撮影し、必要事項を入力するだけ！個人ローンのお申し込みも来店不要！お近くの店舗・ATM検索も簡単です。お勤めなどでお忙しいお客さま、ぜひご利用ください！



つかう

スマートフォン専用アプリ Secure Starter

スマートフォンで安全に
インターネットバンキング

安全性の
確認

サービスの
利用

お知らせの
閲覧

「Secure Starter」は、スマートフォンから沖縄銀行のサービスを安全に利用するための無料アプリです。不正行為への対策が自動で実施されるため、安全性の確認を受けながら、インターネットバンキングなどのサービスをご利用いただけます。お客さまへのお知らせも通知によって確認できるため、大変便利なアプリです。おきぎんのインターネットバンキングは、Secure Starterで！



かんり

マネーフォワード

自動家計簿・資産管理サービスに
おきぎんオフィシャルアカウント

自動家計簿・
資産管理

お知らせの
タイムライン

アプリ・
webへの
リンク

自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」(Web・アプリ)に、当行はオフィシャルアカウントを開設しています。オフィシャルアカウントでは、当行からのお知らせが時系列で掲載されるタイムラインや、当行が提供するアプリやWebサイトへのダイレクトリンクなどが設置され、シームレスに連携し、お客さまの家計管理や資産管理をサポートします。

インターネットでカンタン取引 外為Webサービス

沖縄銀行の外為Webサービスは、インターネットで簡単に外為取引が行えるおすすめのサービスです！窓口受付より送金手数料と輸入信用状発行の電信料が最大1,000円もお得で、インターネットに接続できるパソコンがあれば、お申し込み後はご来店不要。また、便利なマスターデータ登録機能により、入力の手間が省け、依頼書控えや計算書の出力も可能です。その上、セキュリティは安心のワンタイムパスワードによるログイン方式。便利でお得な安心のおきぎん外為Webサービス、おすすめです！

オトク

カンタン

便利

安心

取扱通貨

外国送金 **22**通貨
輸入信用状 **8**通貨

ご利用機関
の声

OIST※(沖縄科学技術大学院大学)

外国送金に関わる作業時間が大幅に短縮されました。

沖縄銀行の外為Webサービスのシステムを利用するようになり、私たちの作業効率は向上し、作業時間も大幅に短縮されました。以前は海外送金をする際は、1件1件手書きで書類を記入し、為替レートに応じ電卓で計算してチェックした後に、銀行へFaxで送っていました。銀行の方でも、私たちと同様に為替レートの計算や確認作業など多くの工程が必要でしたが、システムの利用により送金工程は短縮化され、為替レートの計算も自動になるなど、スピードと正確性が高まりました。また、送金先を登録すれば、次回からは入力の手間も省けるため、利便性の向上を実感しています。

私たちがこれまで海外送金を行った受取人の国数も、既に60カ国を超えました。海外送金件数や取扱通貨数も年々増えていく中で、まとまった件数の海外送金が短時間で効率的に実施できる今のシステムには、大変満足しています。



経理セクション
阿嘉 栄里香 様 古堅 美香 様



ご紹介

OIST

沖縄科学技術大学院大学

沖縄から世界へ
世界最高水準の大学院大学を目指して



提供：OIST

OISTは、沖縄県国頭郡恩納村にキャンパスを置く、5年一貫制の博士課程プログラムを提供する大学院大学です。国際的に卓越した科学技術に関する教育と研究を行うことで、沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に寄与することを目的とし、2011年11月に設立されました。OISTでは、科学技術分野の共通言語である英語を大学の公用語とし、教員と学生の半数以上を海外から受け入れています。教育研究活動は、学際的で先端的なもので、研究室から生まれた将来性のあるアイデアや成果を育み、実用化するため、企業との連携なども推進しています。

※ OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY GRADUATE UNIVERSITY

おもてなし力UP!

女性職員の制服復活!

創立60周年であった昨年を機に、16年ぶりに女性職員の制服を復活しました!新制服導入にあたり、「制服復活ワーキングチーム」を組成し、デザインや機能性について検討を進め、行内アンケートを実施するなど、全女性職員の意見を取り入れています。今回の新制服は金融機関ではめずらしい「プルオーバー」を取り入れ、これまでにない新しい金融機関のイメージを表現しました。また、県工芸士の金城 宏次さまによるコーポレートフラワーのカトレアを用いたデザインのコサージュは、「華やかさ」と「お客さまへの思いやり・やさしさ」を表現しています。お客さまに「愛され親しまれる」がコンセプトのこの新制服で、気持ち新たに日々お客さまをお迎えしています!



接客力
向上!

「金融知識×文脈考慮」技術搭載Pepperで接客!

沖縄銀行では、人型ロボットPepperを店頭で設置してきましたが、お客さまとPepperとの対話は少なく、商品やキャンペーンの紹介、カチャーシー(沖縄独特の踊り)披露など、あくまでその効果は「店頭への集客」ととどまっていました。こうした課題を踏まえ、スムーズで的確な対話を行える「金融知識×文脈考慮」技術[※]をPepperに搭載し、「お客さまとの対話」を主体とした接客業務を開始しています。業界初のこの取り組みで、当行はさらなる接客力の向上を目指します!



ソフトバンクロボティクスが提供するPepperを活用し、自行で独自に実施しているものです。

※株式会社リクルートテクノロジーズが開発する会話エンジン「TAISHI」

● おきぎんトピックス ●

「おきぎん夏休み親子お金研究室」を開催

2016年8月、小学校5・6年生とその保護者を対象とした特別授業「おきぎん夏休み親子お金研究室」を開催しました。日興アセットマネジメント株式会社を講師として招き、経済のしくみの基礎やお金と社会のつながりを、親子で一緒に楽しみながら学んでいただきました。



「エコノミクス甲子園 沖縄大会」を共催

2016年12月、認定NPO法人 金融知力普及協会と共催で「第11回エコノミクス甲子園 沖縄大会」を開催しました。同大会では、高校生が金融・経済の知識を競い合うことで、楽しみながら金融知力を身に付けることを目指しています。当行は今後も、金融経済教育の普及に努めていきます。



琉球大学と学修支援などの連携・協力

当行は2005年より、司法試験挑戦中の琉球大学大学院法務研究科の修了生を嘱託行員として採用し、受験勉強を応援しています。2016年9月には、さらなる学修環境の創出や当行行員の人材育成を目指し、同研究科と学修支援などについての連携・協力に関する協定を締結しました。



日本赤十字社沖縄県支部に寄付金を贈呈

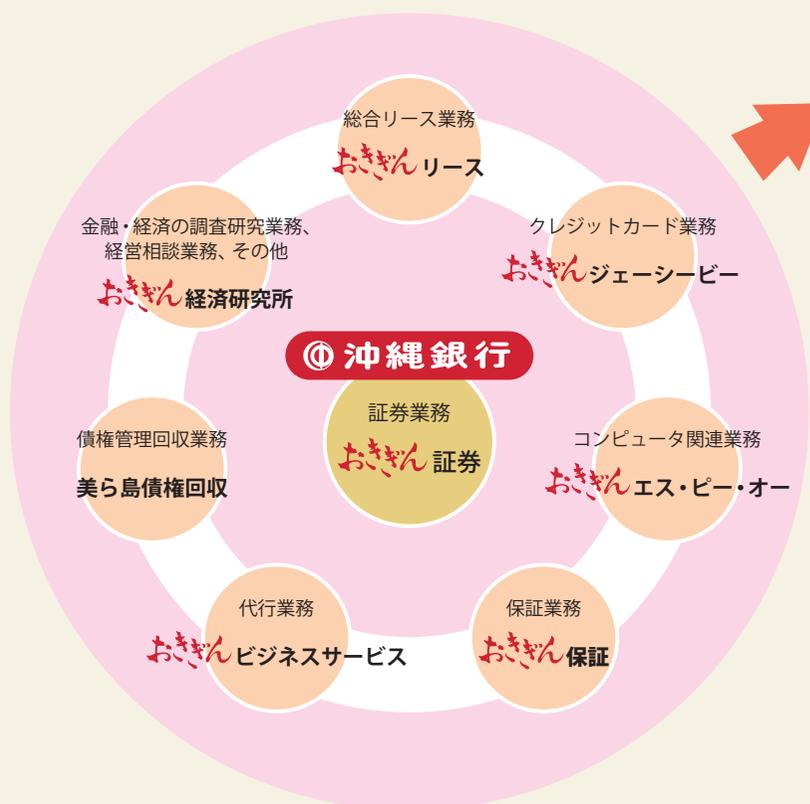
当行役職員一同は、職場募金を実施し、2017年3月に日本赤十字社沖縄県支部に寄付金を贈呈しました。また、本店5階の行員食堂に、赤十字寄付金付き自動販売機4台を設置しました。役職員の飲料購入費用の一部が、同支部の活動資金として寄付されることとなります。



おきぎん証券が グループ入り!

2017年3月31日、沖縄県内唯一の地元証券会社である「おきなわ証券」が、おきぎんグループの新たなメンバーに加わりました。そして、この7月より、県民の皆さまによりわかりやすく、より親しみやすい企業になれるよう、社名を「おきぎん証券」へ変更しました。おきぎんグループでは、「地域密着・地域貢献」という経営理念のもと、地域経済の発展に寄与する総合金融サービス業に新たな発想で取り組み、新たな価値を創造することを目指しています。沖縄銀行は、これを機におきぎん証券にお客さまをご紹介する「顧客紹介業務」をスタートしています。また、当行が持つ銀行のノウハウとおきぎん証券の専門的な知識を融合し、「銀証連携」を十分に機能させ、お客さまの資産形成に貢献していきます。

地域経済の発展に寄与する
総合金融サービスグループへ



テープカットセレモニーの様子

ごあいさつ



代表取締役社長
渡久地 政武

おきぎんグループの一員として、
銀証連携でお客さまの資産形成に貢献していきます。

このたび、おきぎんグループの一員となり、おきぎん証券として新たなスタートを切りました。「貯蓄から資産形成」へ「お客さまの最善の利益を目指したサービス」を、証券会社の専門的な知識を活かして提供することで、地域のお客さまの資産形成を通じて地域社会の発展・活性化に貢献してまいります。

まずは
ご相談を!

将来に備えて、貯蓄から資産形成へ

少子高齢化と人口減少が続き、平均寿命が80歳を超える昨今ですが、今後は現役世代にとって年金や健康保険など社会保障負担が重くなる一方、高齢者世代が受給できる社会保障は少なくなっていくことが予想されます。これまでのような手厚い社会保障を期待することは難しく、低金利時代の今、将来や老後の生活を見据えて、個々人が資産形成について考える必要性が高まっています。当行およびおきぎん証券では、これから将来に向けて資産形成をスタートされる方から、まとまった資金をより有効に運用したい方まで、お客さまのライフステージやニーズに合った資産形成のご提案を、銀証一体となって行ってまいります。

平均寿命の推移と将来推計



(出所) 1950・2011年は厚生労働省「簡易生命表」、1960～2010年までは厚生労働省「完全生命表」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

(注) 1970年以前は沖縄県を除く値。0歳の平均余命が「平均寿命」。

中期経営計画 CHANGE FOR VALUE

新たな価値創造の3年 【2015年4月－2018年3月】

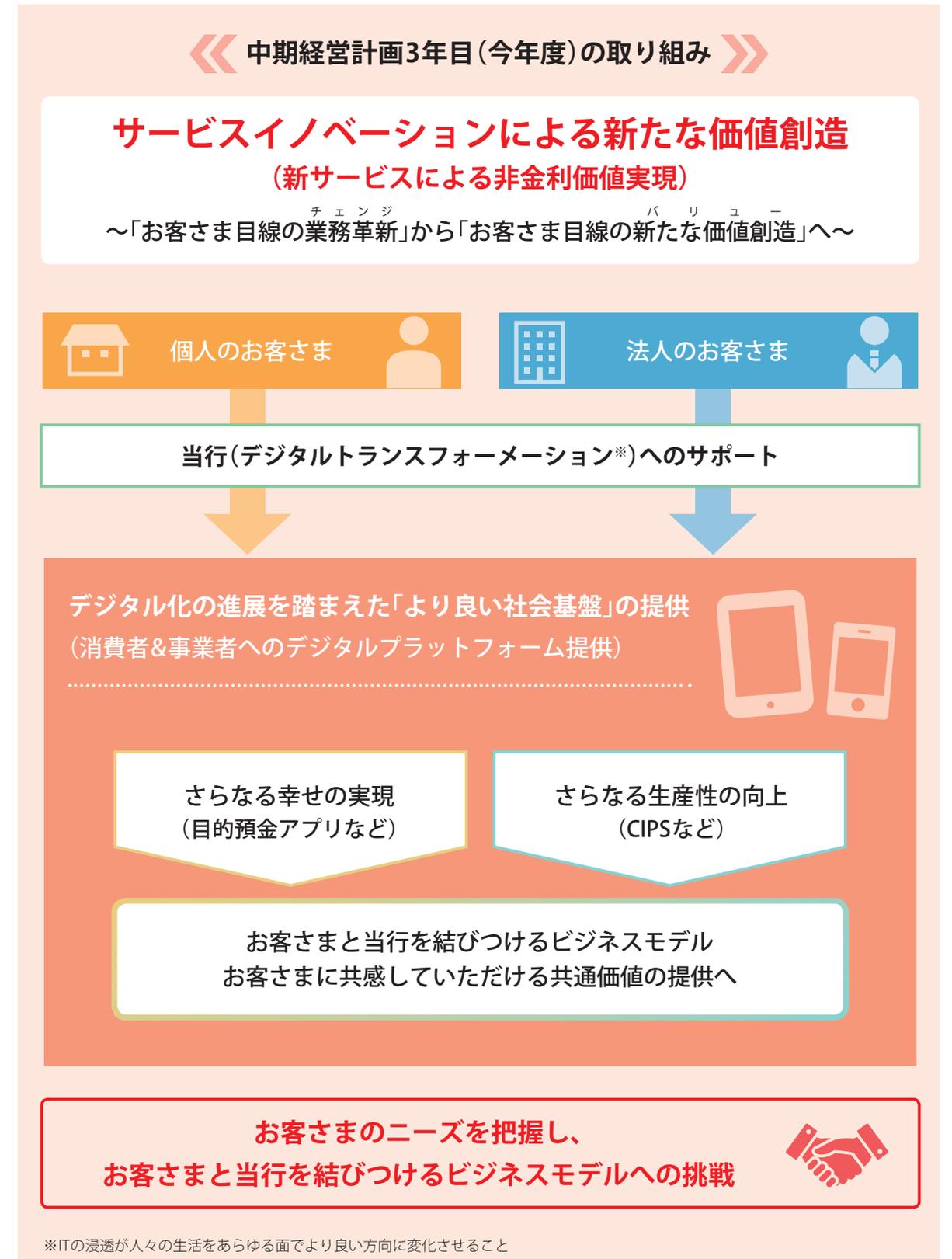
2015年4月より新たな中期経営計画がスタートしました。本計画を通して、これまで築き上げてきた「お客さま目線」の姿勢で、新たな時代に向けた「業務革新(チェンジ)」を具現化していきます。そして、その定着を礎にし、「お客さま目線の新たな価値(バリュー)」を創造することで、地域のお客さまとともに成長し続けます。



中期経営計画2年目の実績

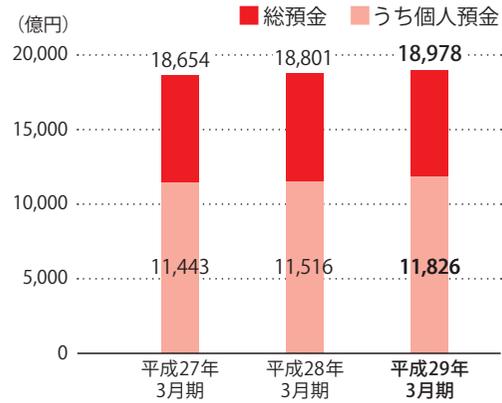
中期経営計画の2年目は、「お客さまの期待を満すこと」を到達目標として、①事務の効率化・集中化に向けたITの活用、②事務部門に機能を集約、③チャネルの多様化に取り組みました。

	経営数値	2017年3月期実績	2018年3月期目標
収益性	連結当期純利益 ROE	4.45%	4.5%程度
	コア業務純益	79億円	72億円
成長性	法人メイン先数 取引先数25%増	6,588先	7,000先
	個人メイン先数 取引先数25%増	298,084先	350,000先
健全性	開示債権比率	1.53%	2%程度
	自己資本比率	10.44%	11%程度

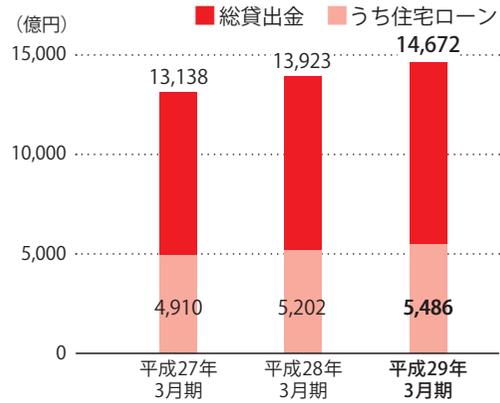


平成29年3月期 業績ハイライト(単体)

預金



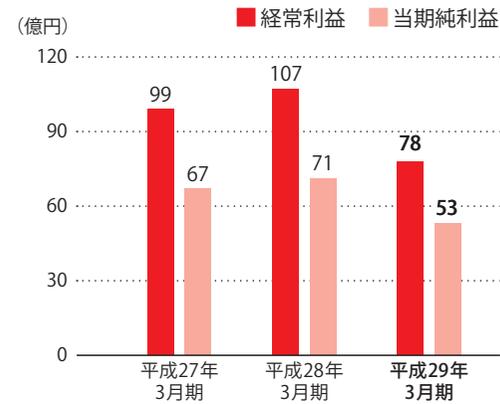
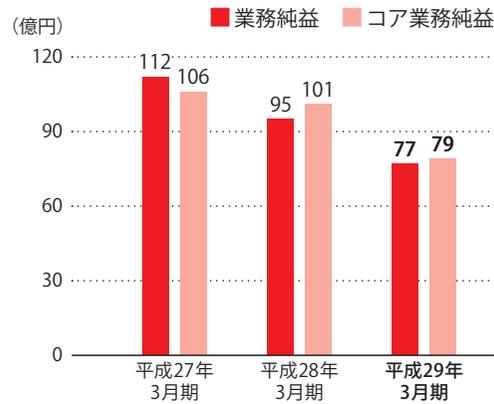
貸出金



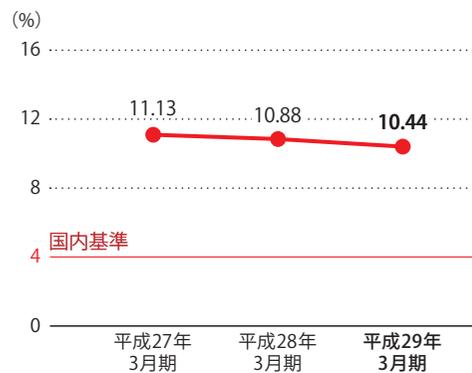
有価証券残高



損益の状況



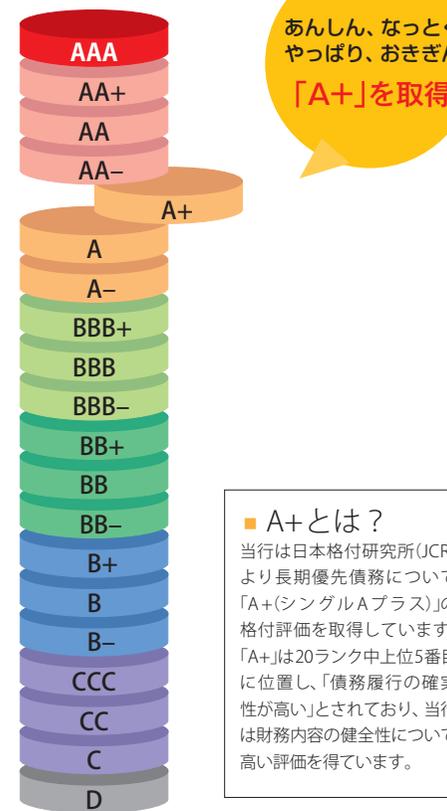
自己資本比率



■ 自己資本比率とは？

総資産に占める自己資本の割合で、銀行の健全性を示す重要な指標の一つであり、比率が高いほど安定した経営といえます。なお、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上(国際基準)、当行のように海外営業拠点をもたない銀行は4%以上(国内基準)であることが求められています。

銀行の財務内容の健全性を評価する「格付」



銀行の概要

(平成29年3月31日現在)

商号	株式会社 沖縄銀行
設立	昭和31年6月21日
創業	昭和31年7月10日
本店所在地	沖縄県那覇市久茂地3丁目10番1号
総資産	2兆1,310億円
預金残高	1兆8,978億円
貸出金残高	1兆4,672億円
資本金	227億25百万円
自己資本比率	10.44%
従業員数	1,124名
店舗数	65店舗

おきぎんグループ

- 総合リース業務
株式会社 おきぎんリース
- クレジットカード業務
株式会社 おきぎんジェシービー
- 証券業務
おきぎん証券 株式会社
- 保証業務
おきぎん保証 株式会社
- コンピュータ関連業務
株式会社 おきぎんエス・ピー・オー
- 代行業務
おきぎんビジネスサービス 株式会社
- 債権管理回収業務
美ら島債権回収 株式会社
- 金融・経済の調査研究業務、経営相談業務、その他
株式会社 おきぎん経済研究所



おきぎんならキャッシュカードが

すぐ、 できる。 使える。



はやい!

キャッシュカード発行の流れ



おきぎん窓口へお越しください。

- 新規口座開設
- 紛失・破損等



必要書類をご呈示ください。

- 顔写真付身分証明書(パスポート等)
- お届け印



店頭ですぐお渡し可能!

即時発行可能な
4種類のカード



※マルチローンカードは当行所定の審査のうえ実行時に発行いたします。 ※キャッシュカード(キキ&ララ)のデザインは時期により異なります。

PEOPLE'S BANK

◎ 沖縄銀行

●発行：平成29年7月 ●編集：沖縄銀行 総合企画部 沖縄県那覇市久茂地3-10-1 Tel. 098-869-1253

